

日本クリスチャン・アシュラム連盟

イエスは主なり



日本アシュラム

'93 3.1 84

開心・静聴・充滿・献身・奉仕



主は生き給う故に 私も生きる

平方 美代子

使徒行伝によると最初のキリスト信者が一番力をこめて語ったのは、「主イエスは十字架につき死なれたが、霊に於て復活し、今なお生き給う」と言う体験でした(行伝一・二と一・十一)。

彼らはこの体験を大胆に告白することによって、あの驚くべき、力強い伝道を遂行しえたのです。今の私達もまた、イエス・キリストが生きて共におられることを経験する時に始めて、力強い信仰生活をする事ができるのです。

「私はあなたがたを捨てて孤児とはしない。……私が生きるの、あなたがたも生きるからである」(ヨハネ十四・十八)。

故スタンレー・ジョーンズ博士もこの聖句を身をもって実証し、十回にわたる訪日の度毎にそれを語り告げられました。

では「主生き給う故に私は生きる」とはどのような生き方でしょうか。それは第一に「生ける主を仰ぎ見る」ことです。仰ぎ見るとは、誰かをぼんやり眺めるのではなく、或人に親しみと信

頼を抱いて注目することです。「信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ」(ヘブル十二・二)と聖書は言っています。

主を仰ぎ見ると見えてくるのは、先ず自己の醜さです。自分の誇りとしていたどんな立派な行いも、キリストの前では色あせ、自分に就いては絶望せずにはいられなくなります。

しかし正にその時、私達は真の救いを見るのです。聖なる主が私達の行いの故ではなく、ただその愛の故に、私達を顧みて下さることを知るのです。

第二は「常に共にいて下さる」主キリストの約束を信じることです。「見よ、私は世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」(マタイ二十八・二十)と。主自身は弟子達にさへ理解されず、遂に皆が主を捨てて去ろうとした時、彼の究極の慰め手は父なる神でした。人が孤独である時に理屈を説き聞かせても慰めになりません。真の慰めは「主が確かに生きて私の側にいて下さる」ことにあります。

第三は「主が私の内に生きる」と言う体験をもつことです。パウロは彼の手紙の中で、「どうか父が栄光の富に従い、御霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強くして下さいように」(エペソ三・十六)と祈りました。

主が私達の心に住まわれる時、自己中心の私達が、人と悩みを共にし、悲しみを分かち合える者へと変えられて行きます。私達の清さの故ではなく、主の生命の力により、私達の内なる彼の形を成らせて下さると信じるのであります。

信じる者にはキリストは過去の救主ではありません。生けるキリストは二千年の時と、何千キロの空間をこえて、今この日本で、仰ぎ見て信じる者と共に、またその内に現臨していられます。

この生けるキリストを経験することによってのみ、私たちは清められ、赦されて新しい生命をうけるのです。アシュラムがこの経験を強めてくれることを確信いたします。

(扇町教会牧師
関西アシュラム委員)



スタンレー・ジョーンズ
コーナー

ビデオ「神の漁り人、
スタンレー・ジョーンズ」(2)

へこのビデオ「サト・タルのアシュラム」の語りの部分を二、三回に分けて掲載します。

「アシュラム」は「愛による、身体と精神と霊のいやし」、又は「神と過ごす休暇」とも定義されます。

「アシュラム」はサンスクリット語で、「ア」は「離れる」「遠ざかる」を意味し、「シユラム」は激しい労働を意味します。それは日常の労働から離れて、森の中の学び舎で、グルーと呼ばれる指導者を中心にして瞑想し修行するインドの方法です。このインドのやり方を取り入れて、その中味はクリスチャン的になしよとするのです。形は地方的なものをう用いるのです。

クリスト教はギリシャの思想と出会い、「言」の概念を取り上げ、自分のものにしました。この「言」の概念は

古来のイスラエル民族にはなかったのに、「はじめに言があった。言は神と共にあった。言は神であった」とクリスト教の豊かな表現として用いられているのです。

同じように、インドの思想に出会い、アシュラムの概念を得ました。クリスト教の中味を盛り込む形を見出したのです。インドのアシュラムでは中心にグルーがいて、すべてが動きます。インドのアシュラムの中心は人間です。私達もグルーを持つとうと思いません。然し人間のグルーではありません。どんなに善良で賢い人でも霊的運動の中心にはなれません。そのような重荷を負うことができるのは神のみです。つまりクリスチャン・アシュラムの中心になれる方はクリストだけです。そのクリストが私達のグルーとなり、キリストを中心にして、すべてが展開するのです。これは重要な事です。

こうすることによって、種々の異なったタイプのクリスチャンを一つにすることができるとです。「あなたがキリストに属し、私もキリストに属する」と言えるのです。イエス・キリストはすべての人のために死なれたのです。私達は教理、信条、礼典、慣習などの色々の面において異なるものですが、キリストにおいて一つになれるのです。キリスト教信仰の中心は人となられた

神・キリストにあります。キリスト教はキリストです。クリスチャンはイエス・キリストとして人の命をもたれた神を信じる人々なのです。

だから私達は思索を始めるに当たって、神から始めません。神から考え始めるという事は、神々についての自分の考えから始めることで、神ご自身から出るものではありません。

又人間から考え始めることもしません。それは人間の問題から考え始めることになり、又同じく人間の問題で思索を終わることになるでしょう。又その過程も問題となるでしょう。

私達は神からも、人からも思索を始めるのではなく、神であるお方、神であり人であるお方から考え始めます。上に向かって神を仰ぎ、下を見て人に至ります。私達はこの方の命に、真の命を見るのです。

「言は肉体となった」

私達の信仰の中心は神が人となったイエス・キリストです。その中心の中心は「言が肉体となった」ということです。哲学も倫理も「言が言になった」に過ぎません。イエスにおいては「言が肉体になった」のです。その時その概念はサンダルを履いて事実となり、歩き出します。イエスの語られたすべての言葉が「言は肉体となった」ことを具体的に表わしています。

アシュラム生活の最良の友
アパ・ルーム
海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)
国際的、超教派的、霊的な読物
価250円 72円、年1,932円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11
振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来41年続行中

P・タイタス著
御国を来らせ給え
(価300円 72円)

'93.1 改訂2版発行

訳者 植村 俊雄
発行所 日本アシュラム連盟
申込先 東京都目黒区中央町
1-21-10 大石 嗣郎
振替口座 (東京) 0-4558番

'92.12 3版発行

アシュラム聖歌集

編著作者 海老沢 宣道
発行所 日本クリスチャン・
アシュラム連盟

東京都目黒区中央町1-21-10
大石 嗣郎
TEL. 03-3712-5758
振替口座 (東京) 0-4558番

各地区アシラムの報告

四国アシラム報告

日時十一月七日十六時〜八日十四時半、於松山山越教会、主題「神に喜ばれる生涯」(ローマ十一・一)。助言者海老沢宣道師、出席者四教会より二十四名(初参加者五、求道者三)。開心に引続きビデオ「神の漁り人」を上映、深い感銘を与えた。充満の時には腕を組み

合い、うづくまでゆかん」を唱い、溢れる感謝、献身の思いをもって散会した。(河野 修)

◆四国アシラムに参加して

矢野 和子

力強い助言者の勧めを受け、信仰の溢れる喜びが一人一人を包みました。私達が主イエスを愛するのではなく、主イエスが私達を捕え、愛して下さっていると言う確信を新しくしました。そして、あなたの家にイエス様が居られるか?との問いに、自分の信仰の弱さを示され、エペソ一・一の「忠実な聖徒たちへ」に、果して自分は忠実な聖徒であるか、神に喜ばれる生活をしているかと反省しました。

日常の暮らしの中でふと立ち止まり、信仰に立ち戻り、キリストに心を明け渡して静かに祈り、反省する時を与えられた恵みの二日間でした。

第十六回城西アシラム報告

○九十二年十二月二十三日(休)、於高円寺教会。ヨハネ一・一〜五及び九〜十八。主題「クリスマスに因んで」。



出席者二十二名。助言者多数。

◆証し、城西アシラムに導かれて

木部 安来

主イエスに在る者らに十二月二十三日は意義深い多忙の時です。求道者にとっては休日なので、人格的な神との出会いとなるかも知れない絶好の時でもあります。

街中の教会なのに、一歩中に入ると清潔な会場がありました。あの季節なので燭火礼拝はよかったが、その意義をもっと深く学びたく思いました。

それぞれのニードをもって参加した方々は多くは顔見知りです、充満の時の

八丈島アシラムの報告訂正

83号二頁の八丈島アシラム報告は不正確でありましたので、次の通り訂正します。

○第三回八丈島アシラム、十一月二十九日(日)、助言者湘江淳一師、向山自助師、主題「命の水・キリスト」。ヨハネ四・五〜二十六により福音の時を、祈りの細胞の後、向山師司会の下に充満の時をもった。出席者十五名。大きな恵みに満たされたアシラムであった。

八丈島・細川 静

これから開催されるアシラム

○バルナバ・アシラム。五月三日(月)〜五日(水)。日野ラ・サール研修所にて。主題 十字架・聖霊。特別招待者 小池辰雄師。聖句テキスト、コロサイ一・二十七。申込三月二十日までに、岡谷市長地小萩・石神 勇宛

(電話)〇二六六―二八一―〇八八。

訂正

○83号四頁の個人消息欄の氏名、伊東愛信兄を伊藤愛信兄に訂正します。

▶四国アシラムに参加した皆さん



連盟役員会報告

一月十三日碑文谷教会にて。出席者 海老沢宣道、大石嗣郎、飯島庸江、白川鄭一。

1、会報84号の内容につき相談。

2、六月八日〜九日の全国理事會に引き続き、開催予定の第二回セミナーは次記の内容で守る。参加費・宿泊費は無料、旅費は自弁とする。テキストは「印度途上のキリスト」、参加者は二章位ずつ分担、読後感を発表する。

◎第二回クリスチャン・アシラム・セミナーのプログラム。

来る六月八日(火)十四時〜九日(水)正午。山崎製パン箱根山荘にて。

○開会礼拝(開心の時) 海老沢。○福音の時(三回に分け)にジョーンズ著「インド途上のキリスト」を各地区の委員が分担して読み、読後感を発表する。

(1)総論的紹介・溯江。一章〜二章土山。(2)四章〜六章河野。七章〜九章山本。(3)十章〜十一章古河。十二章〜十三章芦名。の諸兄が分担する。

○閉会礼拝・向山。

(「インド途上のキリスト」購入の申込先・連盟事務所 大石嗣郎。電話〇三二三七二一五七七八、振替東京〇四四五八番)

関東アシラム委員会

一月十二日新宿西教会にて。出席者 向山自助、新原迪、三井賢太郎、棚田恵子、河合光治、草村美、堀内清満丸茂。

第二十一回関東アシラム開催日・九月十四日〜十六日。奥多摩福音の家にて。主題及び助言者は未定。

個人消息

○ゴードン・ハンター師(トロント・カナダアシラムの指導者) 最近脳溢血のため言語障害に陥られたが、快方に向っていられる。

○ジェイムス・マシューズ師(米国・国際アシラム委員長。師の著書、ガンジー伝「無敵の武器」が認められ、十月二日デーリーでガンジー平和協会から表彰された。

○溯江淳一師(連盟理事) 左足指側湾症の手術のため、一月十八日武蔵野赤十字病院に入院された。外出できるのに二ヶ月を要するよし。全快を祈る。

○向山芳子姉(関東地区委員長) 向山自助師夫人。骨粗そう症による痛みのため、自宅療養中。主の御護りを祈ります。

○岡田多鶴子姉(故岡田実牧師夫人) 〒431-13 静岡県引佐郡細江町中川七四三七の八・アドナイ館四一〜。

書評

D・P・タイトス著「聖ヨハネによる福音書」

一昨年の九月下旬、関東アシラムで著者にお会いした。謙遜、柔和で、霊的深みに満ちた神の器であった。

本書が発刊されるや、早速読んでこれは素晴らしい特殊な注解書だと思つた。他の数多くの注解書にない無数の珠玉の真理と教訓を見つけ瞳目した。

今日、古典的名著となっている内村鑑三著「ローマ書注解」のように、本書もまた東洋人が自国民のために書いた福音の証しの書である。共訳者の海老沢師の巻頭言を借用すれば、「キリストの人格についてのインド的理解を述べ、ヒンズー教やヴェーダ哲学の影響の大きいインドの国の人々に真の福音を分けようとの祈りが結晶して出来上がった、小冊子ながら偉大な参考書である」。私は神学者でもなく、宗教哲学には門外漢だが、その道の有職者なら更に興味深い、もう一つのヨハネ福音書霊解であろう。私の教える神学校に推薦したら三十冊注文があった。教職、神学生は勿論、一般信徒方が一読、再読、熟読、また体読せられるように心からお奨めする。

(垂水教会名誉牧師 中島 彰)



▼連盟は、創始者の祈りによって各地に生まれたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。

新刊 聖ヨハネによる福音書 一そのインド人への証しー A・ダヤ・プラカシュ・タイトス著 海老沢宣道・飯島庸江 共訳

スタンレー・ジョーンズ師はインド人にはインド人の如き心を以て、イエスは宇宙的な主であると説いた。その志を継いでイエスこそインド東洋思想の完成者であると著者はこのヨハネによる福音書の解説を以て力説している。東洋人必読の書。

1992年1月20日連盟発行 定価1,200円

アシラムの五大原則

- (一) キリストへの明渡し
- (二) 御言への静聴と立証
- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会 日本クリスチャン・アシラム連盟 振替口座東京〇四四五八番 理事 海老沢宣道 編集長 白川石川 編集人 大石嗣郎 発行人 大石嗣郎 定価 一部60円 二部62円